

会 議 録

名 称	長期計画審議会小委員会（第3回）
日 時	令和2年2月3日（月） 18：30～20：50
会 場	総合庁舎1階D会議室
出 席 者	[委員] 石渡委員、岡田委員、梶田委員、澤野委員、鈴木委員、根上委員 [自主研修グループ参加者] 職員3人 [事務局] 企画経営部長、長期計画コミュニティ課長、政策企画課長、企画係長2人、職員1人
会 議 次 第	議題 1 中間のまとめに対する意見募集実施結果について 2 アンケート調査における区民及び若年層の意見について 3 目黒区若手職員（自主研修グループ）が考える目黒の未来について 4 新たな基本構想の校正及び最終答申の事務局原案について 5 新たな基本構想の将来像に関するディスカッションについて
配 布 資 料	【説明資料】 1 中間のまとめに対する意見募集実施結果について 2 めぐる未来アンケートに基づく区のまちの魅力・課題 3 子ども総合計画アンケートに基づく区の魅力・期待等 4 自主研修グループめぐろ2040について 5 新たな基本構想の構成について 6 新たな基本構想及びこれを実現するための施策の基本的方向についての考え方（答申） 7 新基本構想の将来像に関するディスカッションについて
会 議 の 結 果 及 び 主 要 な 発 言	[会議の結果] ○ 中間のまとめに対する意見募集実施結果等について事務局から説明し、意見交換を行った。 ○ 新たな基本構想の校正及び最終答申の事務局原案について、2月4日までに事務局に意見をいただく。 ○ 新たな基本構想の校正及び最終答申の事務局原案について、いただいた意見を反映したうえ、2月7日を目途に審議会委員に送付する。 ○ 最終答申の区長への提出は3月24日の午後を目途に調整する。 [主要な発言] ○ 目黒区の未来について、あるべき姿をどうイメージするかが重要である。人口の減少が予測されている中、例えば目黒区にとって望ましい人口規模はどのくらいなのか考えていく必要があるかもしれない。 ○ 「ともに築く みんなの笑顔の花が咲く みどり豊かなまち 目黒」というキャッチフレーズは穏やかな印象がある。もっとインパクトのあるフレーズのほうがよいのではないか。 ○ 目黒区の良さは、落ち着きのある穏やかな生活地であることだと思うので、インパクトにこだわらなくてもよいのではないか。 ○ 審議会に出す際には、キャッチフレーズに込められた思いも含めて伝えてほしい。

- 基本目標1の「いつでも学びいきいきと成長できるまち」は「いつまでも学び～」という表現のほうがよいのではないか。
- 基本目標1について、子どもの成長とともに親も成長するという視点から、「学び合い成長し合える」という表現を入れてはどうか。
- 基本目標に子どもの権利を尊重すること、子どもの主体的な成長を応援すること、地域で子どもを育てることを示す言葉を盛り込めるとよい。
- 基本目標3の「いつまでも健康で自分らしく活躍し続けられるまち」は「誰もが健康で～」という表現のほうがよいのではないか。
- 基本目標3の「活躍」という表現について、特定の生き方を強制しているように受け取られかねない言葉は控えたほうがよいのではないか。
- 基本目標4の「持続可能」という言葉は後ろ向きに捉えられる可能性があるため、もっと未来志向で表現を工夫してはどうか。
- 基本目標4とその範囲とする政策分野に「持続可能な」という表現が複数ある。
- 平和と人権は目黒区がこれまで大事にしてきたものであるため、大前提としてそれを打ち出したつくりにすると目黒区らしさが出るのではないか。
- 目標実現のための区政運営の考え方については、基本目標の前に記載してはどうか。
- 平和の希求などの理念と行財政運営、更には区有施設の見直しなどの具体的な方針が並列で記載されており、違和感がある。

[会議後の主な修正点]

- P7 基本目標
修正前 いつでも学びいきいきと成長できるまち
修正後 学び合い成長し合えるまち
- P7 基本目標
修正前 いつまでも健康で自分らしく活躍し続けられるまち
修正後 健康で自分らしく活躍し続けられるまち
- 項目建ての見直し

以 上